豊かな心でみがき合い，自ら考え行動する子どもの育成

学校だより

さくらっ子

四日市市立桜小学校

平成30年9月3日

第14号

2学期スタート！　新たな気持ちで始めよう！

いよいよ２学期が始まりました。夏休み中に取り組んだ図画工作，自由研究などの作品を抱えて，久しぶりの登校を喜び合うさくらっ子のみんなは，真っ黒に日焼けして逞しく見えます。

休み前に「あんなことをしよう！こんなことをしてみたい！」といろいろ計画を立てながら，その半分もできなかったと後悔するのが「夏休みあるある」ですが，さくらっ子のみんなは，どんな夏休みを過ごしたでしょうか。めあてや課題はどこまで達成できたでしょうか。楽しい思い出や取り組んだことなどを，友だちや先生と一緒にふりかえるのも楽しいですね。

さて，気候的に過ごしやすくなっていく２学期。９月４日(火)からはさっそく給食も始まります。学校生活のリズムを取り戻して，勉強や運動にも落ち着いてじっくりと取り組みたいものです。

保護者の皆さまも，お子様が気持ちよく新学期のスタートが切れるように支え，励ましていただきますようよろしくお願いします。

熱中症に注意！　まだまだ暑さは続きます

「苦しい経験も，過ぎ去ってしまえばその苦しさを忘れてしまう」ことを意味することわざに～喉元過ぎれば熱さを忘れる～があります。1学期末に子どもたちの外遊びを制限しなければならなかったほどの異常な暑さは，夏休みに入って一段と厳しさを増し，「このまま２学期を迎えてしまうのだろうか？」と不安を覚えるほどでした。お盆の時期を過ぎたあたりから少しずつ日差しが柔らかくなり，不思議なことに30度近い気温でも過ごしやすく感じることさえありました。

ところが，夏休み終盤に，また猛暑日が戻ってきました。

そこで，２学期を迎えるにあたり，教育委員会の指導による通知**「学校における熱中症対策について」**を別途配付します。また，**「ほけんだより」「食育だより」**にも関係する記事がありますのでよくお読みいただき，熱中症対策についてご理解・ご協力をお願いします。

≪主な熱中症対策≫

○　**長時間にわたる運動や作業を避ける。屋外では帽子をかぶる。**

○　**こまめに給水する。**

・　必要に応じて，スポーツドリンクや経口補水液等を利用する。

・　学校の水道水は飲料水として利用できる。

○　**十分な睡眠や朝食の摂取など規則正しい生活を心がける。**

～8月過ぎれば暑さを忘れる～とならないように留意し，しっかり取り組みましょう。

夏休み中の奉仕作業　ありがとうございました！

8月18日(土)早朝より地域の有志の皆さんが校地内の草刈り作業をしてくださいました。その前週には桜連合各自治会長さんにもお世話になりました。校内がさっぱりときれいになりました。

8月25日(土)早朝よりPTA奉仕作業があり，たくさんの児童や保護者の皆さんにお世話になりました。台風直後の暑さの中での作業となりましたが，ご協力により集めた草は80袋ほどになりました。

～お知らせ～　※夏休み作品展，三泗小中科学展･社会科作品展の詳細は，９月３日配布の案内文書でご確認を。

○　**給食開始**　９月４日(火)　　○　**夏休み図書返却**　９月４日(火)

○　**校内夏休み作品展**　９月５日(水)～７日(金)　10:20～16:00　さくらホール

○　**三泗小中科学展・社会科作品展**　９月８日(土)～10日(月)　四日市市文化会館　第一展示室

110年前の修学旅行～その時 桜小の歴史は動いた！～

今から42年前に発行された『**桜小学校の百年**』という本が校長室にあります。

明治８(1875)年７月に智積の地に「人民共立学校」として開校以来，桜小学校の誇る100年(当時)の歩みを記した本です。関係者の証言や多数の白黒写真を納めた110ページほどの貴重な資料であり，興味深い内容ですので，少し紹介してみたいと思います。

本の中に，今から110年前の**最初の修学旅行**に関する記述があります。

今年度の６年生の修学旅行は，10月31日～11月１日の１泊２日で，行き先は京都方面で計画していますが，当時の修学旅行はどんなものだったのでしょう。

小学校の記録によれば，明治41年11月に尋常５年以上の男生徒が，京都奈良方面へ２泊の旅行を実施したのが修学旅行の最初である。

翌42年１月に西林校長に引率され，１泊の予定で宇治山田方面に旅行したときは，参加人員28名であり，(中略)この数字は男子のみで女子は旅行に参加しなかったことをいれても，男生徒数の半数強と推測される。

(中略)修学旅行といっても，まだ見ぬところの見学もさることながら，体力の錬磨や精神の鍛錬が主眼目的であったから，今からみると小学５年生の児童でよく耐えられたものだと思うほどの強行であった。

(中略)4日午前3時40分に小学校校庭を出発し，歩いて6時5分に四日市(国鉄)駅に到着した。まだ町の商店も民家もかたく戸を閉ざしていた。(中略)

翌5日午前4時に起床，7時に宿を出発，あいにくの雨中を北へ歩いて御所を拝してから動物園に入る。ここでは「動物数限りもなくおどりまはり，吾等を喜ばしめたり」と驚嘆している。(中略)

奈良まで2時間を費やし，ただちに南円堂，猿沢の池から興福寺，帝室博物館から東大寺に着いた時は，あの南大門の戸はもはや閉ざされていた。二月堂,三月堂の境内からはるかに若草山の山並みを遠望し，春日神社に参拝して一の鳥居前の大文字屋に投宿したときは夜も相当遅かった。

この強行がほとんど徒歩であったことを思えば，宿についてからの記録に「この間，鹿の多く遊ぶを見，みな喜ばざる者なかりき，されども，足の痛みに閉口するもの少なからざりき」とも「夜は疲れはなはだしければ，食事と風呂をすませ早く床につく」ともあるのは無理のないところである。しかも小学5年の生徒がこれに従っているのを思うと，まことに無謀ともいえる行事である。

(中略)四日市の駅に着いたのは午後2時6分，たくさんの父兄たちが弁当を用意して迎えてくれた。貨物倉庫の2階を借りて昼食をとり菰野街道をいそいで歩いたものの，晩秋の日は暮れやすく家に着いたのはもう黄昏どきであった。

当時は２泊３日，しかも女子は行かないって驚き。男子の中でも半数くらいの参加だったのだ。

主な目的は，体力・精神を鍛えること。四日市駅まで早朝２時間半もかけて歩いたんだね。

京都では，動物園も行ったようだね。たくさんの動物に出会って当時のさくらっ子も大喜び！

移動は今のようなバスでなく、汽車と徒歩。とにかく歩き回って，くたくたになって宿についたことがわかるね。本当にお疲れさま。

家族の出迎えを受けてほっと一安心するのは今も同じ。土産話に花を咲かせたのだろうね。

修学旅行のあり方にその時代背景を感じます。とはいえ，100年以上も昔から，京都・奈良を訪ねて見識を深めようとする，今と変わらない教育活動が行われていたことに驚かされます。

今のさくらっ子も，この２学期には，遠足(全学年)や自然教室(5年生)，三泗音楽会(5年生)，修学旅行(6年生)など多くの行事が予定されています。それぞれの行事の目的をしっかり把握して，取り組みたいですね。

(※左の写真は，本文と関係ありません)